



マニフェスト書式の記入方法

平成29年5月吉日

マニフェストスイッチプロジェクト

(1) 全体の注意点

①

「政策討議資料」としてのルールを守ってください

②

マニフェストの趣旨に則り、政策の内容が「はっきり」と「具体的」にわかるようご記入ください

③

できるだけわかりやすく、簡潔にご記入ください

(2) マニフェスト(表面)について

全体的な注意事項

- 各項目共に、最大で全角150文字までで記入ください
- 機種依存文字は、表示をする機器によっては文字化けをする可能性がありますので、ご留意ください

(2) マニフェスト(表面)について

① 政治家を志した理由

- これまでのご経験などを踏まえ、なぜ政治家を志し、このたびの挑戦を決意されたのか、その想いを記入ください。

② 地域のありたい姿

- 地域の目指す将来像、ありたい姿を、ご自身の理念や地域の現在の姿(良い点・成果、悪い点・課題等)を踏まえて、ご記入ください

③ 解決したい課題

- 地域のありたい姿を目指すうえで、取組み、克服しなければならない課題について、具体的にご記入ください

マニフェスト書式の記入方法

(2) マニフェスト(表面)について

解決するための 重要政策

次頁に記載の政策分野（全50分野）から選択した分野（最大3つまで選択可）をご記入ください

④

政策分野

○○○／△△△／◆◆◆

- 選択された政策分野に関し、課題を解決し、地域の将来像を実現するために取り組むべき政策をご記入ください。
- その政策によってどのような効果が期待できるのか、その政策は実現可能か、などがわかるように具体的にお書きください
- なお、政策は、「期限・目標・予算・財源・手段」などの要素を使用することで、具体性や検証可能性を高めることができます

画面イメージ

マニフェストスイッチPJのwebサイトにおける記入画面イメージをお示しします

政策分野

政策分野

政策分野

記載される政策が関係する政策分野を、政策分野50項目の中から最大3個まで選択ください

- 上記、「解決するための重要政策」の説明文などを参考に、取り組まれる政策について、具体的に記載ください(最大150文字にて記載ください)

マニフェスト書式の記入方法

(2) マニフェスト(表面)について

重要政策

重要政策記入時に選択する政策分野は、必ず以下の50項目からお選びください

1	医療政策	14	緑化・公園整備	27	省エネルギー政策	40	芸術・文化振興
2	介護支援	15	少子化対策	28	ごみ減量推進	41	観光振興
3	年金政策	16	子育て支援	29	原発対策	42	スポーツ振興
4	生活保護対策	17	教育政策	30	行政改革	43	人権擁護・保護
5	中小企業政策	18	農業政策	31	議会改革	44	住宅政策
6	景気対策	19	林業政策	32	情報公開・広報広聴	45	市民参画・協働
7	道路網整備	20	漁業政策	33	防災対策	46	若者の政治参加
8	鉄道整備	21	財政再建	34	震災復興	47	女性政策
9	上下水道整備	22	企業誘致	35	食の安全	48	憲法
10	港湾整備	23	雇用創出	36	防犯対策	49	外交・安全保障
11	ダム・河川整備	24	失業対策	37	景観保護	50	地方分権
12	通信施設整備	25	環境保全・保護	38	地域コミュニティづくり	51	その他
13	公共施設マネジメント	26	再生可能エネルギー導入	39	中心市街地活性化		

(2) マニフェスト(表面)について

注力分野

各政策分野について、どの分野に注力して取り組んでいかれるのかをご記入ください
なお、各分野の値を合計した値が100になるよう、それぞれ整数値でご記入ください(※)

1. 社会保障(医療・介護・年金)	30	2. 産業政策	20	3. 社会資本整備	15
4. 教育・子育て	15	5. 農林漁業			

注力分野の状況は、回収後、マニフェストスイッチPJのサイトにて公開致します。円グラフ等によって可視化されることが期待されています

※ 各分野の値の合計が100にならない場合は、主催者側にて、各分野の比率は変えずに合計が100となるよう変換させていただくことがあります。あらかじめご了承ください

マニフェスト書式の記入方法

(2) マニフェスト(表面)について

注力分野

注力分野は、必ず以下の10項目に対する比重を記載ください

1	社会保障（医療・介護・年金）	6	税財政・財政再建
2	産業政策	7	労働（雇用・就職・就労環境整備）
3	社会資本整備	8	環境・エネルギー
4	教育・子育て	9	行政・議会改革・地方分権
5	農林漁業	10	安全・防災・震災関連

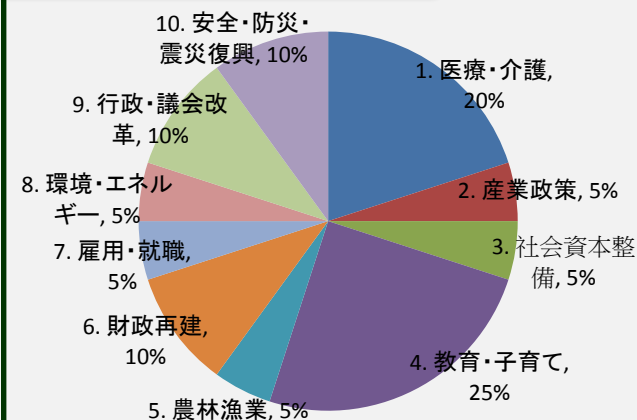
画面イメージ

マニフェストスイッチPJでは、注力分野への記載項目を基に、円グラフ等を作成し、可視化(見える化)を進めることを推奨しています

注力分野記載例

1	医療・介護	20%	6	財政再建	10%
2	産業政策	5%	7	雇用・就職	5%
3	社会資本整備	5%	8	環境・エネルギー	5%
4	教育・子育て	25%	9	行政・議会改革	10%
5	農林漁業	5%	10	安全・防災・震災関連	10%

注力分野グラフィイメージ



(3) マニフェスト裏面・個別テーマ(安心・安全、大阪の活性化)について

第1優先	内容：	記入されない項目は空欄のままご提出ください
	期限：	目標：
	手段：	<ul style="list-style-type: none">□ 目標を実現するために必要となることを具体的にご記入ください□ 「期限」や「目標」が記入し難い項目においても、手段を具体的に記載することで「検証可能性（実現に向けた取り組みが行われたかどうか等）」を高めることを意識してご記入ください

(4) 提出方法について

- 電子メールにて、以下の提出先までご提出ください。
電子メールでのご対応が難しい場合は、
事前に早稲田大学マニフェスト研究所までご連絡ください。

期 限	2017年6月13日（水）17：00まで ※最終締切：16日（金）17：00
提出先	mani@maniken.jp
問い合わせ先	早稲田大学マニフェスト研究所 青木 佑一

- マニフェストのご提出をもって、当該資料のライセンスについて「CC BY」の形態での利活用を許諾いただくものとします。予めご了承ください。
- マニフェストのご提出を持って当選後の検証活動にもご協力いただくことにご了承いただけるものとします。予めご了承ください